

【競技内容】

トーナメント戦で行う。

トーナメントは、事前にくじ引きで決める。

競技時間3分以内に納得が行く、フリーポアで描いたラテアートを1杯提出。

(3分以内であれば複数杯作っても可能、ただし、時間内に決められた所に置かなければ失格とみなす。)

先攻(A)の競技者の競技が開始してから1分半後に後攻(B)の競技を開始する。

(先攻(A)後攻(B)はトーナメント表の並びで決定する)

【競技の流れ】

準備時間2分(カップのセット、ミルクの準備など)

↓

司会からの紹介

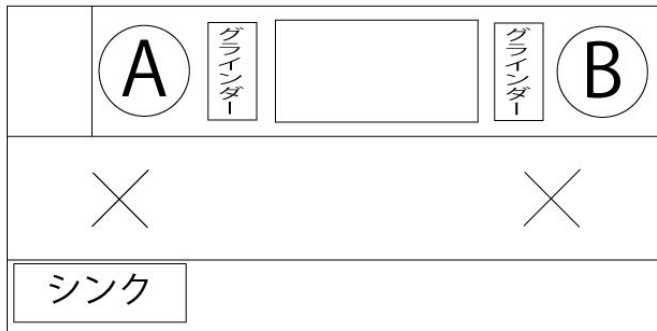
↓

1人、競技時間3分。

Aから競技開始。遅れて1分30秒後にBの競技者が開始する。(開始のタイミングは司会者の合図とともに開始)

↓

各審査員から解説、判定 バッシング 次選手準備時間

【競技者エリア】

・Aは先攻競技者 Bは後攻競技者

・競技者は、時間内に指定された(○)所にラテアートを提出しなければならない。

・競技者は、注ぐ時、決められた場所(X)で注がなければいけない。

※注いでいる時、観客用にプロジェクタ等に接続したカメラで撮影を行っています。

【提供される設備、提供品】

エスプレッソマシン【VA388-Black-Eagle】

グラインダー【MYTHOS ONE】

タンパー

ノックボックス

ゴミ箱

バスケット拭き

カップ(オリガミ 8oz)

コーヒー豆

牛乳(成分無調整)

【持ち込み可能物品】

・カップ(サイズは問いません)

・ミルクピッチャー

【準備時間・競技時間】

前の競技者の解説・判定が行われている間に準備(カップ、牛乳の用意)を行う。

司会者が選手2名の準備ができていないか尋ねる。

準備が出来たら、まず司会者の合図で先行(A)の競技者開始、タイムキーパーがタイマーをスタートする。

1分半後に司会者の合図で後攻(B)の競技者開始、タイムキーパーがタイマーをスタートする。

競技時間のアナウンスは1分、30秒でアナウンスする。

【審査基準】

- ・審査員は、下記5つの項目にしたがって点数をつけ、両名の5つの項目の総合点を算出する。
そして、審査員は総合点の高い方のバリスタに票を入れ、審査員3名中2名の票を得たバリスタが勝者となる。

審査の5項目は以下のようになる。

1. 外観的なフォーム

ジャッジは、粗い気泡がなく、スムーズで艶と粘度性のあるフォームを視覚的に評価する。

この際ジャッジはパターンを崩さないように心掛ける。

2. 視覚的なエスプレッソとミルクのコントラスト

ミルクとエスプレッソの間に鮮明なコントラストが表現されている場合に高得点が与えられる。意図的ではなく滲んだ場合は減点の対象となる。ジャッジは、デザイン上の都合で競技者が意図的に滲ませた場合は、そのことを考慮しなくてはならない。

3. 提供されたカップに対する絵柄のバランス（位置や大きさ）

ジャッジは、パターンのサイズが提供されたカップに対し適していることを評価する。ジャッジは、パターンが提供されたカップに対し綺麗に配置されていることを評価する。複数の絵柄によりデザインされている場合は、全体的なバランスを評価する。

4. 難易度の達成度

ジャッジは下図を参照して評価する。競技者は高い難易度のパターンを忠実に表現することにより高得点が与えられる。難易度の高いパターンに挑戦し失敗した場合、高得点は望めない。

5. 総合的な外観

この項目ではジャッジは一般的な顧客の目線において、提供されたドリンクに対する総合的な印象を評価する。

上記の5項目を以下のように各項目0～6点までつける。

許容出来ない＝0点 許容出来る＝1点 標準＝2点 良い＝3点
とても良い＝4点 優秀＝5点 並外れている驚くべき＝6点

【点数が同点の場合】

プロフェッショナルパフォーマンス を審査する。

ジャッジは競技者のパフォーマンスとホスピタリティスキルの2つを評価する。

競技者のパフォーマンスには、観客にどのように表現するか、そして競技者がドリンクの作成に表す自信、フレアー、スタイルが含まれる。(フレアー・・・才能、もしくはエキサイティングで興味深い方法で何かをすること→すなわちパフォーマンス能力を指す)

ホスピタリティスキルには、競技者のサービススキル、気持ちのこもった温かさ(心配り)、個性、ボディランゲージ、プロフェッショナルリズム、それと、どのようなトーンのサービスをジャッジに提供するか等も含み考慮される。